

## 第 24 回 橋に関するシンポジウム



### 「鋼橋の REBORN 技術 ～持続的な活用に向けた次世代への鋼橋の改良～」

近年、高度経済成長期に建設された構造物の高齢化が進み、既設構造物の劣化や機能向上の必要性が課題となっている。土木学会鋼構造委員会では、我が国において既設構造物の長寿命化や機能向上を目的とした大規模な更新・修繕事業の実施に向けた機運の高まった 2016 年（平成 28 年）に、第 19 回鋼構造と橋に関するシンポジウム「鋼橋の大規模更新・大規模修繕」を開催し、国内外における既設橋梁に対する大規模更新・修繕事業に関する話題提供を行った。

既設橋梁に対する大規模な補修・補強や改築工事は、一般に既設構造物を活かしながらの施工となるため、難易度の高い工事である。また、各施工段階での安全性や使用性を確保しながらの施工となるため、高度な設計技術や判断が要求される。さらに、新設時に比べ、作業空間や作業時間の制約、通過車両や歩行者の安全の確保、周辺への環境対策など、施工にあたって考慮しなければならない点も多い。このような高度で多面的な技術は、過去の事例から学ぶところが大きいと考えられる。

第 19 回の開催から 5 年が経過し、国内外において新たに実施された大規模な補修・補強工事や改築工事などの事例も増えてきた。そこで、今回の橋に関するシンポジウムでは、それらの中からいくつかを取りあげ、工法選択の考え方、設計の考え方、具体的な施工法、困難な制約条件を克服するための技術や工夫などについて報告頂くことを企画した。

行事コード：252101 略称：24 回橋シンポ

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）  
後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタント協会、  
中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社（予定）
2. 日 時：2021 年 9 月 15 日（水）10:00～17:05（予定）  
（会場参加の場合 受付開始 9:30 受付終了 16:00）  
場 所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート 4 階 G403 教室  
（東京都千代田区富士見 2 丁目 17-1）  
および、オンライン開催（Zoom ウェビナーによる配信予定）  
**注）コロナ感染対策の関係から状況に応じて、会場開催を取止め、オンライン開催のみとなる場合があります。**  
⇒緊急事態宣言の対象拡大・期間延長を受け、オンライン開催のみとします。

3. 定員：会場参加200名（申込先着順） オンライン（Zoom）参加250名（申込先着順）  
※会場の常時定員は約500名ですが、三密回避の観点から募集人数を縮小しています。
4. 参加費：会員5,000円、非会員6,000円、学生無料（テキスト代含む）
5. 申込み締切日： 会場参加希望の場合・・・2021年8月31日（火）  
オンライン参加希望の場合・・・2021年9月12日（日）
6. 申込方法：

#### ①会場参加希望の場合

土木学会ホームページからお申し込みください。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

申込到着後、開催日1週間前までに折返し「参加券」・「請求書」を郵送いたします。

※申込みに関してのお願い

- (1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。
- (2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。
- (3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。
- (5) オンラインのみでの開催となった場合、会場参加希望の方についてもオンライン（Zoom）での参加とさせていただきます。予めご了承の上お申し込みください。

#### ②オンライン（Zoom）参加希望の場合

土木学会ホームページ内からお申し込み下さい。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

申込到着後、「請求書」を郵送いたします。参加用のURL等は開催前日までにメールにて連絡予定です。

※申込みに関してのお願い

- (1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。

※締切日に近い申込ですと開催日までに請求書送付が間に合わない可能性がございます  
その場合は開催後にお振込みください。

- (2) 締切日以降の受付はいたしません。
- (3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問合先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。
- (5) 9/5(日)までに参加申込をされた場合、講演集を開催前日までに郵送いたします。9/6(月)以降の参加申込については開催後の発送となります。(開催当日はPDFデータでの閲覧を予定)

#### 7. 問合先：土木学会研究事業課 桃井

MAIL momoi “at” jsce.or.jp (“at” を@に変更して下さい)

#### 8. プログラム (予定)

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| (1) 開会の挨拶 (10:00～10:05)   | 鋼構造委員会 委員長 |
| (2) 委員会活動報告 (10:05～10:20) | 鋼構造委員会 幹事長 |

#### 【基調講演】

- (3) 「床版+防水層+舗装」のゆくえ

大阪大学 名誉教授 松井 繁之 様  
(10:20～11:50)

～～～ 昼 休 憩 (11:50～13:00) ～～～

#### 【小委員会報告】

- (4) 鋼道路橋 RC 床版を更新する施工技術に関する小委員会

鋼道路橋 RC 床版を更新する施工技術に関する小委員会 幹事長  
(株)IHI インフラシステム 開発部研究開発第1グループ 齊藤 史朗 様  
(13:00～13:45)

#### 【話題提供】

- (5) トルコ第1、第2ボスポラス橋における大規模補修工事

(株)IHI インフラシステム 橋梁技術室 設計部 北山 暢彦 様  
(13:45～14:15)

(6) 鉄道における補修・補強、改良事例とバックルプレートの簡易下支え工法

西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 構造技術室 (鋼構造)

課長 木村 元哉 様

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 鋼・複合構造

室長 小林 裕介 様

(14:15～14:45)

～～～ 休 憩 (14:45～15:00) ～～～

(7) 関西圏都市部における中国自動車道リニューアル工事の概要

西日本高速道路株式会社 関西支社 保全サービス事業部

調査役 安里 俊則 様

(15:00～15:30)

(8) 瀬戸大橋の耐震補強

本州四国連絡高速道路株式会社 長大橋・技術部 総括・耐震・耐風グループ

サブリーダー 金田 崇男 様

(15:30～16:00)

(9) 西船場 JCT 改築事業と平板型 UFC 床版を用いた床版取替について

阪神高速道路株式会社 保全交通部 保全企画課 若槻 晃右 様

(16:00～16:30)

(10) 中央環状線機能強化事業における鋼橋の改良事例

首都高速道路株式会社 技術部 技術推進課 染谷 厚徳 様

(16:30～17:00)

(11) 閉会の挨拶

鋼構造委員会 副委員長

(17:00～17:05)

以 上